

第3回検討委員会結果

1. 日 時：平成28年11月22日（火） 19：00～20：38
2. 場 所：箱根中学校 会議室
3. 出席者：検討委員及び事務局、基本設計業者 計20名
4. 議 題：
 - ① 箱根中学校長寿命化改良 校舎配置計画案の採点結果について
 - ② 検討委員会の町ホームページ掲載について
5. 検討結果：各案の採点結果を発表し、各委員から採点内容や配置計画全体の意見を求めた。

【各案に対する意見】	
①案（9票）	
	<ul style="list-style-type: none">・①、②案はほぼ同じ。③案は工事と仮校舎が安全面と費用でネックとなる。・校舎を実際に見学し、全体を把握した上で費用と工期から①、②案となり、結果①案を選定。・B棟2、3階は入れ替えた方がよい。子ども達の使い勝手や動線が重要。防音面も考慮されたい。・防災面等を重視したが差がない。増築を最小限にしているので①案。・魅力ある学校にするには、コスト面よりもバリアフリーや地域コミュニティを重視し①、②案。耐力壁の制約があるがランチ室を設けた①案を選定。・③案は地域開放と学校の区別が難しい。①、②案はほぼ同じだが、図書室とパソコン室の一体化で利用範囲大で①案。
②案（3票）	
	<ul style="list-style-type: none">・①、②案はほぼ同じですが②案を選定。公共施設の在り方から面積を少なくしたいが、学校は難しい。・視聴覚室は防音を含めて多機能化で充実させ、地域開放はPTAが交流できることを目的、その後地域が入っていくのがよい。・僅差で②案とした。③案の減築の良さもあった。
③案（2票）	
	<ul style="list-style-type: none">・地域開放の複合化、コミュニティは必要としない。将来のランニングコストを考え③案。

【配置計画全体に対する意見】		
	質 疑	回 答
1	今後工事を行う上で変更はどのくらいできるか？	今は配置計画であり、これを基本に実施設計に入る。工事着手してからの変更は不可。
2	部活動の雨天時対策で B 棟ピロティは残してほしい。	①案はそのままとなっている。
3	地域開放について、いきなりは難しい。まずは保護者である PTA 交流のための部屋とし、将来、地域開放。	配慮する。
4	地域開放用の仕切りは、防犯と安全性を鑑みてもらいたい。	配慮する。
5	災害を想定し火気室（理科室、調理室）は 1 階に集中させた方が良い。	検討する。
6	パソコン室と図書室は 1 室にした方が良いか？	調べ学習でネットと図書を使えるので 1 室が良い。読書できるスペースが区切られているとよい。3 階の配置は授業以外でも行くので不向き。1、2 階は耐力壁で仕切られているがドアで行き来ができる。
7	図書室を一般開放するとなると、社会教育センターの図書室はどうなるのか？	あくまでも学校優先であるが、今回の改修で 30 年は使う計画なので、複合化を見据えた配置を検討。
8	保健室と相談室が近い方が良いとの意見があるが？	現在のカウンセリング室は一番奥でそこに行けば相談者となり行き辛いが、外に面しているので保護者は入りやすい。保健室とカウンセラーの連携もあり保健室近くが理想。
9	応接室の一部を相談室にしてはどうか？	校長室と応接室が一緒の学校があるが、他の部屋もあるので問題ない。校長室と応接室をまとめ、相談室を設けるが外から入れないのでカウンセリング室は A 棟に残すのも良い。
10	視聴覚室の広さや使い方は？	現在、講演会にも利用しており、100 名以上が入れる。全校生徒は体育館に集まることもできるが、2～30 年後は 200 を下回るから大きな部屋で集会ができる。

		段差を解消すれば200名は入れるので有効活用ができる。降雪等の待ち部屋にもなる。
11	理科室が1室だが2室必要と考えられる。	少子化等で将来は1室でも良いと考えられる。家庭科室との兼用との意見もあるが、実験と実習で扱うものや配置、机も異なるため不可となる。
12	理科室だけでなく特別教室の配置は専門教員の意見を聞いては？	教員との意見交換の場を設ける。
13	地元の地域利用の面はどう考えているか？	PTAの会合は学校で行うが、自治会の会合は自治会館がある。学校関連の方と話し合いは学校で行うこともあり、防犯等の課題もあるが、学校をオープンにしてもらえば地域も使うと思う。

【ホームページ公開に対する意見】		
	質 疑	回 答
1	ホームページで改修スケジュールが分かるようにしてほしい。	了解した。